



令和5年度 第2回 飯田市キャリア教育推進協議会

日時：2月26日（月）15:30～17:00

会場：本庁A棟203・204会議室

進行：伊藤 生涯学習・スポーツ課長

- | | | | |
|-----|------------------------------|--|--------|
| 1 | 開 会 | | 15:30 |
| 2 | 会長挨拶 | （飯田市教育長 熊谷 邦千加） | 15:30～ |
| 3 | 報 告 | | |
| (1) | 令和5年度事業報告（事務局） | P 1 - 4 別冊資料 | 15:35～ |
| 4 | 協 議 | <進行：会長> | |
| (1) | 令和5年度飯田市キャリア教育推進フォーラムの内容について | | 15:45～ |
| (2) | その他の事業について | | |
| (3) | 飯田市これからの学校あり方審議会より（事務局） | P 5 | 16:05～ |
| (4) | キャリア教育を通しての人材育成の現状や課題 | | 16:35～ |
| 5 | まとめと閉会の挨拶 | （飯田市教育次長 秦野 高彦） | 16:55～ |
| | 閉 会 | | 17:00 |

令和5年度 飯田市キャリア教育推進協議会 委員名簿

第2回 参加者

(敬称略)

会役職	所 属	所属における役職	氏 名	
会 長	飯田市教育委員会	教育長	熊谷 邦千加	
副会長	飯田商工会議所	会頭	原 勉	欠
副会長	みなみ信州農業協同組合	代表理事組合長	寺沢 寿男	欠
委 員	長野県南信州地域振興局	局長	丹羽 克寿	
委 員	南信教育事務所飯田事務所	所長	石井 克之	
委 員	飯伊市町村教育委員会連絡協議会	副会長	北澤 正光	
委 員	長野県経営者協会飯田支部	支部長	木下 博隆	欠
委 員	飯田青年会議所 (R6.1～)	理事長	村松 将太	
委 員	飯田市社会福祉協議会 (R5.9～)	会長	原 重一	
委 員	飯田市公民館	館長会代表	笹 行夫	
委 員	学識経験者	信州大学大学院 特任教授	山浦 貞一	
委 員	学識経験者	社会教育委員	田添 莊文	欠
委 員	飯田市PTA連合会(旭ヶ丘中学校)	PTA 会長	矢沢 武彦	欠
委 員	幼稚園・保育園(川路保育園)	公立園長会長	宮崎 千保子	
委 員	飯田市校長会(松尾小学校)	代表	城田 純子	
委 員	飯田市校長会(旭ヶ丘中学校)	代表	大澤 忠史	
委 員	市内高等学校長(飯田 OIDE 長姫高等学校)	代表	松原 均	
委 員	飯田短期大学	准教授	田中 洋江	
委 員	飯田市産業経済部	部長	清水 秀敏	
事務局	飯田市教育委員会	教育次長	秦野 高彦	
事務局	〃 学校教育課	課長	福澤 好晃	
事務局	〃 学校教育課	学校教育専門幹	今井 栄浩	
事務局	〃 学校教育課	教育支援係長	麦島 隆	
事務局	〃 学校教育課	教育企画係長	倉田 奨	
事務局	〃 学校教育課	教育企画係	平澤 里奈	
事務局	〃 生涯学習・スポーツ課	課長	伊藤 弘	
事務局	〃 生涯学習・スポーツ課	補佐兼社会 教育係長	本島 秀勇	
事務局	〃 生涯学習・スポーツ課	社会教育係	矢澤 健	
事務局	〃 生涯学習・スポーツ課	社会教育係	樋口 晋哉	
事務局	〃 生涯学習・スポーツ課	社会教育係	片桐 和子	
委員以外	長野県南信州地域振興局 リニア活用・企画振興係	主事	福田 太朗	
の参加	飯田青年会議所	担当	佐々木 大地	

令和5年度 事業報告

1 会議開催

※本年度より高等教育機関代表として、飯田短期大学と飯田コアカレッジに参加していただく。

2校には、飯田市キャリア教育推進協議会と飯田市キャリア教育研究委員会の委員に1年交代に委嘱していく。

(1) 飯田市キャリア教育推進協議会

会長：熊谷 邦千加（教育長）

副会長：原 勉（商工会議所会頭） 寺沢 寿男（みなみ信州農業協同組合代表理事組合長）

委員：丹羽 克寿（長野県南信州地域振興局長） 石井 克之（南信教育事務所飯田事務所長）

北澤 正光（飯伊市町村教育委員会連絡協議会副会長） 木下 博隆（長野県経営者協会飯田支部長）

久保田 大樹、村松 将太（R6.1[~]）（飯田青年会議所理事長）

中島 武津雄・原 重一（R5.9[~]）（飯田社会福祉協議会会長） 笹 行夫（飯田市公民館長代表）

山浦 貞一（学識経験者・信州大学大学院特任教授） 田添 莊文（学識経験者・飯田市社会教育）

矢沢 武彦（飯田市PTA連合会代表・旭ヶ丘中PTA会長）

宮崎 千保子（公立保育園長会長・川路保育園長）

城田 純子（市内校長会代表・松尾小学校校長） 大澤 忠史（市内校長会代表・旭ヶ丘中学校校長）

松原 均（市内高等学校長代表・飯田OIDE長姫高等学校校長） 田中 洋江（飯田短期大学准教授）

清水 秀敏（飯田市産業経済部長） 19名

事務局：生涯学習・スポーツ課社会教育係、学校教育課 11名

合計 30名

① 第1回 令和5年5月29日（月）

・キャリア教育に関する基本的な方針と具体的な取組について協議 【資料No.1 P1】

【資料No.2 P2】

② 第2回 令和6年2月26日（月）

・今年度の取組の評価及び検証

(2) 飯田市キャリア教育研究委員会

委員長：城田 純子（松尾小学校長） 副委員長：大澤 忠史（旭ヶ丘中学校長）

委員：内田 総一郎（南信教育事務所飯田事務所指導主事） 塩澤 鎮子（飯田中央保育園長）

上沼 佳子（三穂保育園長） 齊藤 芳樹（千代小教頭） 濱 雅代（川路小教頭）

松村 正彦（高陵中教頭） 小林 晋（竜東中教頭） 清水 敏（飯田高教頭）

下島 斉（飯田風越高教頭） 吉村 恭弘（飯田OIDE長姫高教頭） 井原 宙（下伊那農業高教頭）

田中 宏幸（飯田女子高教頭） 遠山 千尋（飯田コアカレッジ教頭）

三ツ井 洋樹（飯田市公民館主事） 林 亮介（上郷公民館主事） 平田 玖瑠実（龍江公民館主事）

アドバイザー：荒井 英治郎 准教授（信州大学教職支援センター）〔4年目〕 19名

事務局：学校教育課教育企画係、生涯学習・スポーツ課社会教育係 6名

合計 25名

① 第1回 令和5年6月8日（木）

ア 荒井 英治郎 准教授（信州大学教職支援センター）による講義

「ウイズコロナ時代のキャリア教育をどのように推進するか」

- イ 飯田型キャリア教育の推進について共通理解し、各校のキャリア教育の推進計画について発表
- ウ 学びをつなぐキャリア・パスポートの校種間の引継ぎや活用方法について情報交換

② 第2回 令和5年10月6日(金)

- ア 各校からの実践事例報告 協議
- イ キャリアパスポートの活用事例報告 協議

③ 第3回 令和6年2月13日(火)

- ア 飯田市キャリア教育推進フォーラムを終えて成果と課題を協議
- イ 実践事例の情報共有、次年度の自校のキャリア教育について

(3) 園小連携推進委員会

委員長：北原 勉（千代小校長） 副委員長：宮崎 千保子（川路保育園長）
委員：塩澤 鎮子（飯田中央保育園長） 黒河内 智子（飯田ルーテル幼稚園長） 加室 優（鼎小教頭）
小町谷 聖（三穂小教頭） 田口 修（和田小教頭） 熊谷 志帆（龍江小教頭）
福澤 好晃（学校教育課長） 小澤 康茂（子育て支援課長） 齊藤 嘉子（子育て支援課保育係長）
片桐 礼子（こども家庭課長補佐兼こども相談係長） 大藏 和幸（教育相談員）
片桐 和子（生涯学習スポーツ課社会教育係） 今井 栄浩（学校教育専門幹）
事務局：鈴木 栄子（子育て支援課保育係） 岡島 由夏（こども家庭課こども相談係）
麦島 隆（学校教育課教育支援係長）

① 第1回 令和5年7月31日(月)

- ア 委員会の目的「発達や学びのつながり」を支える取組について
- イ 園と小学校をつなぐ「引継ぎシート」活用状況の情報交換
- ウ キャリア教育の視点からみた園小の接続について

② 第2回 令和6年1月25日(木)

- ア 「引継ぎシート」についてアンケートのまとめから、今年度末の作成について
- イ 「発達や学びのつながり」を支える取組の実践報告

(4) 市内高等学校長と市教委との懇談

① 第1回 令和5年6月14日(水)

- ア 飯田型キャリア教育（人材育成）の推進について
- イ 各高校のキャリア教育や「総合的な探究の時間」における取組
- ウ 学校部活動の地域移行に向けた取組について 他

② 第2回 令和5年10月24日(火) 於：ムトスぷらざ

- ア 飯田市平和祈念館、教育センター「びーいんぐ」見学
- イ 飯田型キャリア教育（人材育成）の推進について 各課からの情報提供
- ウ 飯田型キャリア教育の取組から考える飯田市の教育の特徴について 他

③ 第3回 令和6年2月28日(水) 予定

- ア 高校生意識調査の結果について

- イ 高校生対象の事業や支援について
- ウ 各高校のキャリア教育や「総合的な探究の時間」の成果や課題 他

(5) 高校・地域連携研究会

各校代表者：関川 浩平（飯田高教諭） 長谷川 美香（飯田風越高教諭）
國松 秋穂（飯田 OIDE 長姫高教諭） 大池 朋美（下伊那農業高教諭）
小林奈津子（飯田女子高教諭）
事務局：大学誘致連携推進室、生涯学習・スポーツ課

- ① 第1回 令和5年12月12日（火） オンライン開催
 - ア 共通カリキュラムフィールドスタディについて 学輪 IIDA 共通カリキュラム実行委員会との合同開催
 - イ 高校からの取組共有

(6) 庁内調整会議 令和5年5月18日（木）

- ・各機関でキャリア教育・人材育成に関わる事業について昨年度の成果と課題、今年度の事業について情報共有

2 発達段階をつなぐキャリア教育の取組

(1) 園と小における取組（園小連携推進委員会の報告から）

- ①千代小学校区…園児と児童の日常的な交流、夏休みに小学校職員が保育体験を行う
- ②鼎小学校区…3年生の総合的な学習の時間に継続的な交流学习を行うことで、イベントから学びへ
- ③三穂小学校区…1年生と園児との相互交流、三穂保育園の公開保育に小学校職員が参観
- ④和田小学校区…育てたい3つの力を園小で共有し、合同茶つき等の連携した学びを継続
- ⑤龍江小学校区…「学びは遊び」「遊びは学び」という視点での小学校の授業研究

(2) 小と中における取組（小中連携・一貫教育推進委員会の報告から）

- ①飯田東中学校区…りんご並木70周年に関わる事業や作業にりんご並木に関わる一員として小学生も参加
- ②飯田西中学校区…地域と関わるかざこし学習発表会（小6参加）
- ③竜東中学校区…新たな形で実施したふるさと竜東の集い（小6参加）
- ④竜峡中学校区…小6中1交流（体験授業等）
- ⑤鼎中学校区…中学校「ボランティアステーション」の取組が小学校の校内でのボランティア活動へ
- ⑥高陵中学校区…中学生の総合的な学習の時間の学びを小学校で発表
- ⑦遠山中学校区…遠山郷二園三校ランドデザイン作成 三校絆交流会（中、小5、6参加）

(3) 中と高における取組（キャリア教育研究委員会の報告から）

- ①高陵中学校…探究学習をはじめるとにあたり、生徒が飯田 OIDE 長姫高校生徒と飯田女子高校生から話を聴く会の実施

(4) 結いジュニアリーダー育成講座

- ・市内9中学校より13人が年間7回の講座を休日に実施。各学校での様子を情報交換したり、SDGsや環境文化都市飯田について、ワークショップに参加したりした。第7回講座（最終回）では、飯田市キャリア教育推進フォーラムで活動報告と司会進行を担った。

第1回（6月3日）、第2回（7月22日）、第3回（9月2日）、第4回（10月29日）、
第5回（12月2日）、第6回（1月13日）、第7回（2月10日）

（5）高校生への取組

①高校生意識調査の実施 【資料No.3 P3-4】

②総合的な探究の時間への支援、社会教育機関からのアプローチ

- ・各校で「総合的な探究の時間」等、必要に応じて支援ができるように取り組んでいる。
（大学誘致連携推進室、産業振興課、ゼロカーボンシティ推進課 生涯学習・スポーツ課 等）
- ・高校生講座に参加したことにより、自己の生き方が積極的になった高校生も出てきている。（例：カンボジア・スタディツアー、東北スタディツアー 等）

（6）学校と企業が連携した取組

①中学校職場・福祉体験の実施 【資料No.4 P5-8】

- ・職場体験実務担当者会 第1回（5月16日（火））、第2回（11月30日（木））
- ・市内全ての中学校で、4年ぶりに職場体験を実施することができた。

②高校と連携しての事業（産業振興課、生涯学習・スポーツ課支援） 【資料No.5 P9】

- ・地元企業が出前授業や探究学習へ専門性を活かして支援していく仕組みについて考え始めている。

3 令和5年度飯田市キャリア教育推進フォーラムの実施 【資料No.6 P10-11】

- ・期日：令和6年2月10日（土） 会場：飯田市鼎文化センター 参加者：228名
- ・第I部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育実践発表

①三穂保育園 ②龍江小学校 ③竜東中学校
④飯田女子高等学校 ⑤飯田コアカレッジ ⑥結いジュニアリーダー育成講座

- ・第II部 パネルディスカッション テーマ：若者の皆さんと一緒に、私と地域の未来を考えよう

ファシリテーター：山浦 貞一（信州大学大学院教育学研究科特任教授・上郷公民館長）
パネリスト：矢澤 篤（小澤木材株式会社・技能五輪(建築大工)出場）
吉澤 来琉（龍江地区二十歳の集い実行委員）
赤羽 愛花（カンボジア・スタディツアー参加 下伊那農業高校2年）

4 広域的なキャリア教育の取組

- ・上伊那と南信州が連携してキャリア教育を推進し、飯田市教育委員会も協力している。
- ・「伊那谷 de キャリア教育研修会」の実施 参加者：会場 129名・オンライン 24名
期日：令和5年12月10日（日） 会場：豊丘村ゆめあるて
実践事例の発表：NPO 法人いなだに竹 Links、高森町の放置竹林に対する取組
講演会：「みえないなりゆきをおいかける」
講師：市川力氏（一般社団法人みつかる+わかる代表理事、慶応義塾大学 SFC 研究所上席所員）
交流会、全体トークセッション

5 その他

- ・わが家の結いタイム 【資料No.7 P12-13】



中学校区単位に

小中一貫校として

9つの『学園』をつくりまします

検討案

飯田東学園 飯田西学園 緑ヶ丘学園 竜東学園 竜峡学園 旭ヶ丘学園 鼎学園 高陵学園 遠山郷学園

資料 3

目的

これまでの「小中連携・一貫教育」の土台の上に、新たな課題への対応を視野に入れて「小中一貫教育」を実践することで

- ☆子供たちの確かな学力を育みます
- ☆子供たちの生きる力の基礎を育みます
- ☆地域の将来の担い手・支え手を育みます

教育目標がつながる

「中学校卒業時にめざす子供の姿」を、各学園の小中学校の先生・保護者・地域の皆さんが共有します。

教育活動がつながる

各教科の教育課程や、授業以外の特別活動において、9年間のつながりを意識した教育を行います。

子供たちがつながる

小中学生の交流機会も充実させて、異年齢の子供たちがつながり学び合う教育を行います。

先生がつながる

小中学校の先生が一つのチームになって、9年間の子どもたちの成長を見通しながら、連携・協働して教育活動を行います。

地域・学校・家庭がつながる

地域や保護者の皆さんが学校運営や教育活動に参画するコミュニティ・スクールの仕組みを活かして特色ある教育を行います。

① 小中一貫校では、通常の教科以外に「特設教科」を設定することができます。

「飯田のキャリア教育」を主軸にしたカリキュラムを学園ごとに編成して、コミュニティ・スクール(地域に開かれ、地域とともにある学校)として地域の皆さんに参画・協働していただき、各学園ごとの地域特性や教育資源を生かした特色ある教育活動を進めます。

② 飯田市の小中一貫教育は、現在の小中学校の施設を用いた小中一貫校からスタートします。

③ 学園内の学校間移動に時間を要するため、職員連携や子どもたちの協働学習の場面ではICT(情報通信技術)を有効に活用します。

飯田のキャリア教育
(地育力で支える生き方学習)

- ☆ 自分で生き方を切りひらき、人とつながって生きることができ力をそなえ、ふるさとに心根をおいて、未来の地域の担い手や支え手になっていく人を、学校・地域・家庭が力を合わせて育みます。
- ☆ 地域の資源や課題を学習教材に、子供たちは多様な人と関わりながら、実体験を通して探究的な学びを行います。

園保での学び

遊びの中で地域を感じ、体験する

地域について学び、考え、伝える

地域とつながり、人と関わる

地域の課題を探究し行動・貢献する

小学校部におけるキャリア教育

中学校部におけるキャリア教育

高校での学び



飯田市キャリア教育推進協議会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、幼児期の教育から高等教育まで、発達の段階に応じ体系的に行うキャリア教育の推進を図るため、産学官の連携・協働により活動する飯田市キャリア教育推進協議会を設置することについて必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この要綱において、キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を促す教育をいう。

(設置)

第3条 キャリア教育の推進を図るため、飯田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に飯田市キャリア教育推進協議会（以下「推進協議会」という。）を設置する。

(推進協議会の任務)

第4条 推進協議会の任務は、主に次に掲げる事項とする。

- (1) キャリア教育の推進に関する基本的な方針を定めること。
- (2) キャリア教育の推進に関する評価及び検証を行なうこと。

(推進協議会の組織)

第5条 推進協議会は、委員30人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、企業関係者、PTA関係者、学校関係者及び行政関係者等から教育委員会が委嘱する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第7条 推進協議会に会長及び副会長を置き、会長は、飯田市教育長をもって充て、副会長は、会長が指名し、教育委員会が委嘱する。

2 会長は、会務を総理し、推進協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

(会議)

第8条 推進協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長を行なう。

2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(研究委員会)

第9条 キャリア教育の推進に関する具体的な事業を行う機関として、推進協議会に研究委員会を置く。

2 研究委員会は、推進協議会が定めたキャリア教育の推進に関する基本的な方針に基づき、事業の企画、立案及び運営等を行うものとする。

3 研究委員会は、会長が指名する委員をもって構成する。

4 研究委員会に委員長を置き、会長の指名により定める。

5 委員長は、研究委員会を総理し、研究委員会を代表する。

6 会長は、研究委員会を置く必要がなくなると認めるときは、これを廃止することができる。

(事務局)

第10条 推進協議会事務局は、教育委員会生涯学習・スポーツ課及び学校教育課内に置く。

2 研究委員会の事務局は、教育委員会生涯学習・スポーツ課及び学校教育課内に置く。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、推進協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

付則

本会設置要綱は平成21年3月31日より施行する。

本会設置要綱は平成30年12月1日より施行する。

本会設置要綱は令和4年5月1日より施行する。